



特定非営利活動法人キドックス 年次報告書2014





キドックスの目指す社会

子ども・若者が自ら学び考えて行動し、
主体的に自分の人生を生きることができる、
犬が犬らしく人間社会の中で生きることができる、
“人がその人らしく”
“犬がその仔らしく”
心身豊かに生きられる社会を目指します。



キドックスの社会での役割

“若者が社会で自立するための基礎力を身につける教育機会”
“犬が人の社会で幸せに暮らすための教育機会”
の2つを同時につくることで、
双方に価値のある「ドッグ・プログラム」
を提供します。



2014年度を振り返って 代表理事 上山琴美

法人設立3年目となる2014年度は、私達にとっては大きな挑戦となり覚悟を試された1年でした。2013年度で他団体との提携事業を終え、2014年度始めは、自分たちの独自事業で0からのスタートを切りました。プログラムの構成、広報、運営体制、全て模索しながらもこれまで得た経験を元に、スタッフ全員で一丸となって立ち上げに取り組みました。年度後半は徐々にこれまで出会ったたくさんの方との繋がりが形となり、自立支援事業、教育事業、事業基盤の強化、それぞれの土台がやっと出来上がってきました。その中で、自分の道を見つけた若者、里親家庭が見つかった保護犬、それぞれ幸せな道を歩む姿を間近で見ることができました。本当に多くの方に支えていただいたおかげで1年間事業を継続することができました。

2015年度は、プログラムの質の向上と成果をより出せる体制を整えるべく、ボランティアだけで運営することの限界を感じ、専従スタッフを新たに雇用して本格的に運営基盤を整えていきます。

地域の人や動物たちがお互いを尊重し、共に支え合い、困難な場面でも助け合って乗り越えていける社会を、「ドッグプログラム」の可能性を通じて実現していくことを目指します。2015年度もどうぞよろしくお願い致します。







Contents

- P6-7 若者自立支援ドッグプログラム事業
- P8 子ども達への教育活動
- P9 事業基盤強化・ドッグプログラム啓発事業
- p10-13 昨年度の振り返りと来年度の目標
- P14 実績一覧
- P15 ご寄付者様・提携動物保護団体
- P16 団体概要・沿革
- P17-19 会計報告





若者自立支援ドッグプログラム事業

自立を目指す若者と保護犬が 社会へ再出発できることを目指して

社会での居場所が見つからずに孤独に悩む若者達が日本にはたくさんいます。一方で、飼い主に捨てられて殺処分されてしまう犬たちもたくさんいます。双方が共に助け合い一歩進むための機会を提供し、若者の自立と保護犬の里親家庭への譲渡を目指しています。

2014年度概要



4つの新たなプログラムが開始

- ・自立支援プログラム「いぬのいえ」
- ・フリースクール「こいぬのおへや」
- ・わんこみゅカフェ
- ・面会相談

2013年度は外部のNPO団体と提携してプログラムを提供していましたが、2014年度からは提携プログラムは終了し、2013年度に培ったノウハウを元にキドックスの独自プログラムを開始しました。



2014年7月 フリースクール終了

自立支援プログラムのお問い合わせいただくことが多かったために、自立支援プログラムに内容を絞ることでプログラムの質を高めることに特化しました。



日常のプログラム以外にも、
様々な取り組みに挑戦しました！

- ・わんこみゅイベント
みんなでBBQやうどん作りなど楽しい交流イベントを行いました。
- ・老人ホームへセラピードッグ訪問
- ・犬の譲渡会の実施
- ・チャリティグッズの製作
若者自身が企画した商品を製作しイベントで販売しました。
- ・ボラバイト（=研修手当がでる軽作業）
企業様から内職作業をご依頼いただき職業体験として作業を行いました。
- ・適応指導教室訪問
地域の不登校児が通う教室へ訪問活動を行いました。
- ・ひきこもり合同相談会 相談員
茨城県内各地で行われた相談会に相談員として参加しました。





若者自立支援ドッグプログラム事業

2014年度実績

活動カテゴリ	実施回数 (回)	利用者合計 (人)
自立支援いぬのいえ	192	45
フリースクール	50	1
わんこみっかカフェ	29	不特定多数
わんこみっかイベント	4	41
セラピードッグ訪問	5	250
ひきこもり相談員	5	20
犬の譲渡会	1	不特定多数
適応指導教室訪問	2	8



2014年度に実施した活動とその実施回数、利用者数の合計です。

※利用者数は、個人を1としてカウントしていますので同じ人が2回利用しても1カウントになっています。



2014年度の「いぬのいえ」の利用者数と犬の頭数です。



2013年5月1日～2015年4月31日までの2年間の集計です。

2014年度(2014.4.1～2015.3.31)現状成果

総利用者実数 <small>(※単発利用/単発相談/継続利用者含む)</small>	46名
定期利用者実数 <small>(※単発利用/単発相談/継続利用者含まない)</small>	8名
延利用者数 (※定期利用者のみ)	461名
進路決定者数	0名
進路決定率	0%
総トレーニング犬	9頭
総譲渡犬	4頭

開始時(2013/5/1)から現在まで <small>(※一般向けプログラムのみ集計)</small>		
人	総利用者数	49
	定期利用者数	10
	延利用者数	667
	進路決定者数	3
	進路決定率(%)	30
犬	総トレーニング数	12
	総譲渡数	8

※年度別集計のため、プログラム成果にタイムラグが生じるため(例えばプログラム参加した翌年に就労決定等)過去の年度も含めた集計を掲載しています。

2015年度目標



プログラムの質と成果の向上 若者編

- ・プログラムの内容の細分化
- ・評価指標の見直し
- ・単発利用者や卒業生へのフォロー体制の強化



プログラムの質と成果の向上 保護犬編

- ・ドッグシェルター化の検討
- ・譲渡の促進





子ども達への教育活動事業

未来を担う子ども達に自分を大切にする心を育み、
誰もが他者を尊重できる社会を目指して

“自分を自分で認められる。好きになれる。”そんな大人になれば、自分以外の他者や自分よりも弱い立場の相手を尊重して愛せる大人になれると考えています。私達は、子ども達が身近に感じ、かつ、自分よりも弱者である“犬”という存在を通じて、自分を認めること、他者を幸せにすること、相手の気持ちを考えること、相手に気持ちを伝えること…これらの本質はつまりどういうことなのか、子ども達でも理解できるように様々な方法で伝えています。



2014年度概要



多様な教育機関・コミュニティにプログラムを提供
小学校や地域のボランティア団体、児童養護施設など様々な施設からお声をかけていただき、幼稚園～高校生程度までの年齢の子ども達に「命の大切さを体感する」「自尊心の向上」「犬を理解し適切な接し方を学ぶ」「コミュニケーション力の向上」など様々なテーマでプログラムを実施しました。子どもたちの状況とこれからの目標にあわせて、講演形式からふれあい体験形式まで様々な形で行いました。



2014年度実績

年月	イベント名	参加者数(人)
2014年10月	一般社団法人てんてん緑井舎主催 「犬と暮らす2日間、ワンダフル パークツアー」	10名
2014年11月	東京都小金井市緑野公園まつり 「犬とのコミュニケーション講座」	30名
2014年12月	豊島区立南島小学校様 「犬とのふれあい教室」	60名
2014年12月	児童養護施設 東京育成会様 「犬とのふれあい講座」	30名
2015年1月	児童養護施設 東京育成会様 「犬とのふれあい講座」	30名
2015年3月	船橋市市民講座「1日1分のらくらく コミュニケーション講座」	30名

2015年度目標

- 出張プログラムの対象とテーマの整理
- 対象別に提供数の増加
- コンテンツの見直し
- 社内人材育成






事業基盤強化・ドッグプログラム啓発事業


社会に価値ある成果を出せる“継続的な組織”を、
日本中に作るために


自立に悩む日本中の若者たち、殺処分されてしまう日本中の犬たち、彼らを各々の地域で守り育てていけるように、継続して事業を行い成果を出していける組織基盤作りと、ドッグプログラムが様々な地域でも適切に運営されるよう活動して行きます。

2014年度概要

 初の主催講演会の実施
私達の活動を多くの方に知っていただくために、一般の方向けに講演会を行いました。キドックスの活動について、アメリカ研修の報告、ドッグトレーナーの対談などを行い、私達が取り組むドッグプログラムの意義や日本での可能性をお伝えしました。






 **ファミリー会員制度スタート！**
キドックスの活動は多くの方のご支援によって継続することができます。意義ある活動を継続して行うため、私達を支えてくださる月額会員制度「ファミリー会員」を2014年10月から開始しました。

 **様々な地域イベントに出展**
活動を知っていただくために、茨城県内の地域イベントにて出展させていただき広報活動や募金活動を行いました。

2014年度実績

活動カテゴリ	実施回数 (回)	利用者合計 (人)
講演会	1	28
取材・見学対応	9	81
啓発イベント	3	250
ファミリー会員	随時	8

2015年度目標

-  収入財源の強化
-  職員の労働環境改善
-  職員の人材育成



プログラムへ参加した若者による作文

2014年度の振り返り・2015年度の目標

プログラムへ参加した若者の中から数名をお願いをして、昨年度の振り返りと来年度の抱負を書いてもらいました。

2014年度の振り返り

キドックスに通う前までは、家に籠りがちで外出することもほとんどなくストレスがたまるばかりで精神的に追い詰められ、体力も落ちていく一方でした。このままではいけないと思い、解決策を探していたところ、キドックスというところがあることを知りました。通い始めは体力もなく、精神的にも不安定だったため、不安な毎日を過ごしていました。しかし、キドックスに通う頻度が増すにつれて、体力も以前よりつき、精神的にも安定していきました。これは、キドックスでの活動を通して様々なことを学んだおかげです。

2015年度の目標

キドックスに行く前は体調が悪かったのですが、去年よりも大分良くなりました。でも、日によっては、まだ体調の悪い日があるので、毎日元気でいられるよう、更に体調を良くしたいです。体調が良くなったら、自分に合った仕事を探して、社会に出られるように頑張りたいです。

Sくんより

2014年度の振り返り

私は、去年はお試しで数回しか来ていなかったのですが、キドックスに正式に通い始めたのは今年の1月からです。去年はまずキドックスに通えるようになることが目標だったのですが、その目標は達成でき、今年もすでに何個かの目標をクリアしてきました。私は無理をしすぎてしまう、人に気を遣いすぎてしまうことが課題だったのですが、この5月まででスタッフさんからは自分から無理をしないように調整できるようになった、自然体になったと言われるようになりました。

2015年度の目標

これからの目標は、私はもともと体調を崩しやすいので、自分の体調をうまく考慮して、学校やバイトに通えるようになることです。キドックスから新しい未知の場所に行くことは、すごく不安で勇気がいりますが、ここのスタッフさんに支えてもらってアドバイスしてもらったことを活かしながらがんばって行きたいです。

Nちゃんより



犬と共に踏み出す一歩

KIDOGS



プログラムへ参加した若者による作文

2014年度の振り返り

私がキドックスに来て、春で一年になりました。キドックスのことは、母が情報誌を見て知りました。引きこもりや病気・障害などで働けない人たちを支える施設はいくつかありますが、捨てられた犬達のお世話をするとところは、どこにもありませんでした。人と接することが苦手な私は、「犬がいるなら人だけのところよりは過ごしやすいのでは」と母の勧めで見学しに行くことにしました。初めはとても緊張しましたが、スタッフさん達は優しく、かわいい犬達と触れ合うことができ、楽しむことができました。その後も何回か参加し、会員になろうと決めました。

普段家に引きこもってばかりいて体力がなく、初めは週1回で通っていました。長い時間をかけて体を慣らしていき、少しずつ参加日を増やして今は週3回通っています。今までに担当した犬は2匹。初めての担当犬は「ポチ」。フサフサの毛に大きな体、なでてもらうのが大好きでキドックスにいくといつも出迎えてくれました。トレーニングでは声や手で指示を伝えます。人前で声を出すのは苦手ですが、ポチと一緒にトレーニングをしていくうちに、少しずつ声も出るようになってきました。

ポチとは長い間一緒にいましたが、一月にトライアルに行き、4月に正式譲渡が決まりました。別れは寂しかったけど、新しい家族ができて幸せにしているのはとてもうれしく思いました。

2番目は「やま」。山を駆け回っていたところを保護された自由犬です。臆病な性格で、初対面では不安そうにしていました。力も強く、散歩では振り回されていつも疲労困憊でした。トレーニングで教えることも多く大変ですが、やまは物覚えが良く、教えたことをすぐに出来るようになることもありました。今までトレーニングをして、やまはとても成長してくれました。なので、「次の段階へ進んでみよう」とトレーナーさんにアドバイスをもらいました。やまは私の要望に応じてくれますが、それだところの気持ちだけで一方通行になってしまいます。そうならないためにも、今度は私がやまの気持ちに応える番です。

2015年度の目標

キドックスに来て、いろいろと学ぶことがあります。今後もやまと共に成長していきたいと思います。

Aさんより

2014年度の振り返り

キドックスへ来るようになり、まだ一ヶ月と短いですが、今少しずつ自分の中で変化が芽生え始めているのを感じています。今までの自分は外出することが少なく、家族以外の人と話す機会もありませんでした。先の見えない現実から目を反らし、新しいことを始めることが出来ずひたすら足踏みを続ける・・・そんな毎日でした。しかし、最近では前より物事へ前向きに取り組むようになり、他者が「今、何を感じているのか?」、「今、何を考えているのか?」と少しずつ自分以外の存在へ目をむけ、思い

やりを持てるように変わりつつあります。自分ひとりでは変わるのが難しかったと思います。家族やスタッフの方達、同じ境遇の仲間たち、そして犬達・・・皆との出会いや協力があり、一步を踏み出すことができました。

2015年度の目標

2015年度も多くの人たちや犬達との出会いを糧とし、頑張っていければと思います。

Kくんより



犬と共に踏み出す一歩

KIDOGS



キドックスのスタッフによる作文

2014年度の振り返り・2015年度の目標

ドッグプログラムに携わるスタッフに、昨年度の振り返りと来年度の抱負を書いてもらいました。

2014年度の振り返り

2014年度は、キドックスにとっても私自身にとってもチャレンジの年となりました。2014年度は、たった一人の若者と保護犬四頭からのスタートでした。初期の段階では、なかなか増えない参加者となかなか譲渡が決まらない保護犬達に悩み、色んな試行錯誤を重ねてきました。

参加者が増えてきてからは、届けたいものが届けられているか、成果が出ているかなどプログラムの質に悩み、スタッフで幾度となく話し合いを重ねてきました。たくさん話し合いの中で、スタッフ間で大事にしようとして常々話していたのが一人一人、一頭一頭を大事にサポートし、目の前の若者と犬にきちんと向き合う事でした。私自身、2014年度から現場に入る回数が増え、よりたくさんの時間を若者と犬と向き合うようになり、その大切さを実感してきました。

2015年度の目標

2015年度から、個人的に常勤となり常に現場にいる立ち位置になりました。その立ち位置を活かし、常に若者と保護犬ペアのサポートと、ドッグトレーナーさんとの橋渡しに重きを置き、若者と犬が一步を踏み出す時に横に並んでいられるような存在でいれるよう頑張っていきたいと思えます。



村本 知恵理より

2014年度の振り返り

“試行錯誤を続けた一年”でした。参加する若者にとって、犬にとって、何がいいのか、どう関わり指導することがいいのか。「正解」は？を考え過ぎて、行動に移す一歩が遅れることもあったと思っています。やりたいこと、今できることは違うことの区別に時間がかかったこともありました。試行錯誤から感じたこと、気付いたこと、やってきたことは今、必要なステップだったと思っています。

2015年度の目標

昨年度、感じたこと、気付いたことをプログラムの中に形で出せる一年にしていきたいです。

里見 潤より



犬と共に踏み出す一歩

KIDOGS



キドックスのスタッフによる作文

2014年度の振り返り

2014年はキドックスにとってとても大きな一歩になった年だったと思います。“やりたい事と出来る事は違う”それを思い知らされていた前年まではそんな現実にもがき、一度は社会から求められる別の形の活動を行っていましたが、スタッフ一同、違和感を感じていました。本当にこのままで良いのだろうか・・・？それでも私たちが目指したいものを形にするのは無理だと言われた事もあり、本当に葛藤の日々、理想と現実と苦しんだ年でした。でも、そんな葛藤があったからこそ「私たちが本当にやりたいことは何なのか？」そこを深められた時期でもありました。スタッフ内で何度も話し合い、時には本気でぶつかり合う中で、キドックスとしてこのメンバーだからこそ発信できるメッセージ、そしてオリジナリティーを見出せるまでに至りました。2014年は試行錯誤ながらもそれもプログラムとして形にし、挑戦できた一年だったと思います。

2015年度の目標

2015年は、まだまだ試行錯誤なプログラムをもう少し確立させ、犬にとっても参加者にとっても各々が抱える目標を達成するための力をつけられるプログラムであるために更にプログラムを練っていかれたらと思います。その為に個人としてはドッグトレーナーとして自分に必要とされている部分、また、自分から伝えたいものをプログラムでサポートしていく中で伝えていけるよう自分をもっともっと磨いていけたらと思います。キドックスとしては、やはりこの活動を一人でも多くの方に知っていただくための広報にも力も入れていき、この場を通して新たな一歩を踏み出せる犬と人のペアを増やせるよう、プログラム参加の入り口も更に広げていけたらと思います。プログラムとしては、その時間内で参加者や犬たちの得意な部分を更に引き伸ばしていけるよう頑張っていきたいと思います。

山田 有紀子より

2014年度の振り返り

2014年度は、キドックスにとって変革の年であったと思います。自活するための組織改革、広くアピールする機会を増やし、チャレンジしていったこと、根本的なプログラムの見直しと強化、スタッフ全員の意識がより高く、より思いが強くなった年でした。新たな若者たちとの出会いや、譲渡された保護犬の数も増え、うれしい年になりました。

2015年度の目標

若者たちが前向きに進路を決められるようサポートできる態勢をとる。日々活動できること、支えて下さっている皆様に感謝し、明るい気持ちで前進する。

相川 美由紀より



犬と共に踏み出す一歩

KIDOGS



2014年度実績一覧

■主な活動

2014年4月～現在 自立支援プログラム「いぬのいえ」
2014年4月～2014年7月 フリースクール「こいぬのおへや」
2014年4月～現在 保護犬×コミュニティ×カフェ「わんこみゆカフェ」「わんこみゆイベント」

■イベント型活動

2014/4/5 【譲渡会】ソーケン様主催イベント「Importance of life」で譲渡会を実施
2014/4/24 【セラピードッグ訪問】つくば市プレミエール元気館様
2014/5/23 【セラピードッグ訪問】つくば市プレミエール元気館様
2014/9/19 【セラピードッグ訪問】つくば市プレミエール元気館様
2014/10/4 【動物介在活動】土浦市適応指導教室の小中学生向け犬のふれあい教室
2014/10/18・19【動物介在活動】ぐる〜ん様共催企画「犬と暮らす2日間、ワンダフルパーク作り！」
2014/10/19【啓発】つくばみらい市主催「みらいフリマ2014」へ出展
2014/11/7【動物介在活動】つくば市適応指導教室の中学生向け犬のふれあい教室
2014/11/22【動物介在活動】東京都小金井市「梶野公園まつり」内にて犬とのコミュニケーション講座
2014/11/28【セラピードッグ訪問】サンシャイン・ヴィラ つくば倶楽部様
2014/12/6【動物介在活動】豊島区立南池袋小学校様にて犬のふれあい教室
2014/12/29【動物介在活動】児童養護施設 東京育成園様にて犬とのふれあい講座
2015/1/27【動物介在活動】児童養護施設 東京育成園様にて犬とのふれあい講座
2015/2/21【啓発】こみっとフェスティバル2015 inイオンモール水戸内原へ出展
2015/2/22【啓発】一般財団法人動物環境・福祉協会E v a主催イベント映画上映会&交流会in茨城へ出展

■講演活動

2014/5/11【講演会】動物愛護団体capin様総会にて村本トレーナーが講演
2014/9/20【講演会】キドックス主催「捨てられた犬とひきこもりの若者の再出発〜キドックスの現場から〜」
2015/3/8【講演会】取手市主催「1日5分のらくらくコミュニケーション講座」にて講師を担当

■相談員担当

2014/6/7【相談会】茨城ひきこもり合同相談会にて相談員を務める
2014/9/13【相談会】茨城ひきこもり合同相談会にて相談員を務める
2014/11/20【相談会】茨城ひきこもり合同相談会にて相談員を務める
2015/1/30【相談会】茨城ひきこもり合同相談会にて相談員を務める
2015/3/7【相談会】茨城ひきこもり合同相談会にて相談員を務める

■助成金選出

2014/6/25 いばらき未来基金第1回テーマ助成の助成先に選出
2014/11/5 パルシステム茨城様の「くらし活動助成基金」助成先に選定
2015/3/16 「中央ろうきん若者応援ファンド」の助成先に選出

■資金調達活動

2014/7/1 【クラウドファンディング】READY FOR?プロジェクト目標達成
2014/10/20【会員募集】キドックス・ファミリー会員制度スタート

■メディア掲載

2014/3/28【ラジオ】ラチオつくばに代表の上山が出演
2014/6/6【新聞】常陽新聞に掲載
2014/8/3【新聞】朝日新聞に掲載
2014/8/8【web記事】ペットと暮らしの情報サイトGoronに掲載
2014/10/21【テレビ】インターネットテレビ「いばキラTV」へ出演
2014/11/5【web記事】茨城新聞に掲載「15団体に助成金、水戸で贈呈式 パルシステム茨城」
2014/12/12【商材】LUSH様の商品「チャリティボット」のラベルに掲載
2015/1/7【新聞】茨城新聞の一面に掲載
2015/2/5【新聞】共同通信社から取材

■提携動物愛護団体

NPO 法人 動物愛護を考える茨城県民ネットワーク CAPIN 様（茨城県）
Dog Shelter様（東京都）



2014年度ご寄付者様

- ☆6月10日 つくば市 K様
- ☆6月25日 つくば市 K様
- ☆6月27日 クラウドファンディング「Ready For?」にてご寄付くださった皆様
(Shige様、大川様、Umayama様、Okamoto様、HISA様、Moriya様、
Hashino様、千桂坊様、Kurosawa様、Fuwa様、Ogino様、
(わ)様、サトウ様、りょうすけ様、ゼフヲ様、Yuzawa様)
- ☆6月30日 東京都 ソーケングループ様とTシャツご購入者様
- ☆7月18日 つくば市 O様
- ☆8月5日 守谷市 K様 K様 T様
- ☆9月16日 東京都 ソーケングループ様・跡見女子大学生の皆様・Tシャツ
ご購入者様
- ☆10月19日 つくばみらい市フリーマーケット「みらいフリマ2014」
にて募金くださった皆様
- ☆11月14日 東京都 K様
- ☆11月28日 阿見町 O様
- ☆12月3日 阿見町 O様
- ☆12月25日 水戸市 H様
- ☆12月26日 阿見町 O様
- ☆1月22日 阿見町 O様
- ☆2月2日 阿見町 O様
- ☆2月4日 土浦青年会議所様
- ☆2月21日 イオンモール水戸内原店イベントにて募金くださった皆様
- ☆2月22日 Eva主宰イベントin水戸にて募金くださった皆様
- ☆3月2日 阿見町 O様
- ☆3月31日 阿見町 O様



2014年3月31日現在 ファミリー会員として継続的にご寄付くださっている皆様

- | | |
|--------|--------|
| ☆ T.M様 | ☆ Y.Y様 |
| ☆ M.K様 | ☆ T.H様 |
| ☆ Y.S様 | ☆ M.O様 |
| ☆ C.M様 | ☆ T.S様 |

(※2014年3月31日以降にご登録いただいた方は来年度の年報に掲載させていただきます)

皆様からの温かいご支援に、心より御礼申し上げます



2014年度 提携動物保護団体



動物愛護を考える
茨城県民ネットワーク CAPiN様
<http://www.capinew.jp>

茨城県土浦市にて動物保護施設を運営し、
動物と人が幸せに生きる社会を目指しています



Dog Shelter様
<http://dogshelter.jp>

東京都内の保健所から犬を保護し、犬達が温かな
家庭で幸せに暮らせるように活動しています



団体概要

団体正式名：特定非営利活動法人キドックス（KIDOGS）
 法人設立日（登記日）：2012年9月20日
 団体設立：2011年8月
 スタッフ数：4名（2015年3月末現在）
 活動ボランティア数：約10名
 正会員数：10名

役員

代表理事 上山琴美
 理事 里見潤
 理事 山田有紀子
 理事 村本知恵里
 理事 相川美由紀
 監事 松田陽子



沿革

2010年12月 犬の殺処分問題や子どもを取り巻く社会問題について調査・研究を開始
 2011年8月 犬を介した子ども向けプログラムなどを様々な形式で行う
 2012年9月 NPO法人格を取得
 2013年3月 犬と若者の支援施設「キドックスファーム」を茨城県土浦市にて開所
 2013年5月 保護犬を介した青少年の自立支援プログラム開始（自立援助ホーム向け）
 2013年9月 若者就労支援プログラム開始（期間4ヶ月限定プログラム、一般向け）
 2014年1月 若者就労支援プログラム終了（期間4ヶ月限定プログラム、一般向け）
 2014年3月 保護犬を介した青少年の自立支援プログラム終了（自立援助ホーム向け）
 2014年4月 自立支援プログラム「いぬのいえ」、フリースクール「こいぬのおへや」
 保護犬カフェ「わんこみゅカフェ」開始
 2014年7月 フリースクール「こいぬのおへや」プログラム終了
 2015年3月 現在も茨城県土浦市にて活動中！





2014年度会計報告

2014年度の会計全体のご報告です。

法人名： 特定非営利活動法人キドックス

平成26年度 活動計算書

平成26年 4月 1日 ~ 平成27年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	0	
賛助会員受取会費	0	0
2. 受取寄付金		
受取寄付金	425384	
ファミリー会員会費	152643	578027
3. 受取助成金等		
受取民間助成金	1510000	
受取国庫補助金	0	1510000
4. 事業収益		
イベント収益	160600	
利用者会費	1212230	
雑収入	10570	1383400
5. その他収益		
受取利息	125	
雑収益	1290	1415
経常収益計		3472842
II 経常費用		
1. 事業費		
(1)人件費		
人件費	0	
福利厚生費	0	
人件費計	0	
(2)その他経費		
印刷製本費	20570	
水道光熱費	79031	
諸会費	4000	
諸謝金	46000	
旅費交通費	751190	
消耗品費	193187	
地代家賃	300000	
通信運搬費	45574	
雑費	2000	
備品費	80936	
支払手数料	31348	
損害傷害保険費	11672	
研修手当	6010	
広告宣伝費	83150	
会議費	1000	
他団体寄付	2703	
その他経費計	1658371	
事業費計		1658371
2. 管理費		
(1)人件費		
人件費	0	
法定福利費	0	
人件費計	0	
(2)その他経費		
諸会費	2500	
租税公課	1523	
消耗品費	3600	
その他経費計	7623	
管理費計		7623
経常費用計		1665994
当期正味財産増減額		1806848
前期繰越正味財産額		390264
次期繰越正味財産額		2197112



2014年度会計報告

2014年度の事業・助成金別のご報告です。
 総計の列が前ページの全体会計と同じ数値になっています。

法人名： 特定非営利活動法人キドックス

平成26年度 活動計算書 事業・助成金内訳

平成26年 4月 1日 ~ 平成27年 3月 31日まで

(単位:円)

科 目	総計	いぬのいえ事業	バルシステム事業	Ready For?事業	未来基金事業	講演・啓発事業	ろうきん事業	その他
I 経常収益								
1. 受取会費								
正会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0
賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 受取寄付金								
受取寄付金	425384	0	0	330172	0	17212	0	78000
ファミリー会員会費	152643	152643	0	0	0	0	0	0
3. 受取助成金等								
受取民間助成金	1510000	0	400000	0	100000	0	1010000	0
受取国庫補助金	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 事業収益								
イベント収益	160600	31800	0	0	0	128800	0	0
利用者会費	1212230	1212230	0	0	0	0	0	0
雑収入	10570	10570	0	0	0	0	0	0
5. その他収益								
受取利息	125	0	0	0	0	0	0	125
雑収益	1290	0	0	0	0	0	0	1290
経常収益計	3472842	1407243	400000	330172	100000	146012	1010000	79415
II 経常費用								
1. 事業費								
(1)人件費								
人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)その他経費								
印刷製本費	20570	14090	4505	1975	0	0	0	0
水道光熱費	79031	79031	0	0	0	0	0	0
諸会費	4000	4000	0	0	0	0	0	0
諸謝金	46000	0	0	46000	0	0	0	0
旅費交通費	751190	198516	240113	201562	103119	7880	0	0
消耗品費	193187	157672	14464	21051	0	0	0	0
地代家賃	300000	300000	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	45574	36882	8692	0	0	0	0	0
雑費	2000	2000	0	0	0	0	0	0
備品費	80936	17000	63936	0	0	0	0	0
支払手数料	31348	31348	0	0	0	0	0	0
損害傷害保険費	11672	11672	0	0	0	0	0	0
研修手当	6010	6010	0	0	0	0	0	0
広告宣伝費	83150	83150	0	0	0	0	0	0
会議費	1000	1000	0	0	0	0	0	0
他団体寄付	2703	0	0	0	0	2703	0	0
その他経費計	1658371	942371	331710	270588	103119	10583	0	0
事業費計	1658371	942371	331710	270588	103119	10583	0	0
2. 管理費								
(1)人件費								
人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)その他経費								
諸会費	2500	0	0	0	0	0	0	2500
租税公課	1523	0	0	0	0	0	0	1523
消耗品費	3600	0	0	0	0	0	0	3600
その他経費計	7623	0	0	0	0	0	0	7623
管理費計	7623	0	0	0	0	0	0	7623
経常費用計	1665994	942371	331710	270588	103119	10583	0	7623
当期正味財産増減額	1806848	464872	68290	59584	-3119	135429	1010000	71792
前期繰越正味財産額	390264							
次期繰越正味財産額	2197112							



2014年度会計報告

法人名： 特定非営利活動法人キドックス

平成26年度 貸借対照表

平成27 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	2197112	
流動資産合計		2197112
2. 固定資産		
固定資産合計		0
資産合計		2197112
II 負債の部		
1. 流動負債		
流動負債合計		0
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		390264
当期正味財産増減額		1806848
正味財産合計		2197112
負債及び正味財産合計		2197112

法人名： 特定非営利活動法人キドックス

平成26年度 財産目録

平成27 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

科 目・摘 要	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現金	¥19,524	
ゆうちょ銀行	¥2,177,588	
流動資産合計		¥2,197,112
2. 固定資産		
固定資産合計	0	0
資産合計		¥2,197,112
II 負債の部		
1. 流動負債		
流動負債合計		0
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		0
正味財産		¥2,197,112

～ご支援のお願い～

キドックスの活動は、皆様の温かいご支援に支えられています。自立に悩む若者たちや、飼い主に捨てられてしまった犬たちの双方の社会復帰のために、皆様の温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



ファミリー会員になって支援する

キドックスの若者たち・保護犬たちを、温かく見守り、身近な存在として応援してくれる、ファミリー会員の方を募集しています。お申し込みはキドックスのHPにてお手続きをお願いいたします。

3つのプランがあります



様々な会員特典があります

D O G			会員特典
			会員証★入会後1ヶ月以内に郵送します。イベント参加時などにご持参いただけます。
			百景観★年に4回百景観を作成しお送りします(春号、夏号、秋号、冬号を予定)
			年報★1年に1回、年間の活動報告書を作成してお送りします(毎年5-6月頃を予定)
			一口ファーム直★キドックスファームの施設内にお名前や愛犬のお名前を掲示します。
			感謝の手紙★定期的にご支援の感謝の手紙を書いてお送りします。
			お着てほしい★会員の方をお着てほしいための企画を実施します。年に数回ご案内状をお届けします。愛犬のわんちゃんも一緒に遊びに来てください♪



寄付で支援する

寄付の方法は、銀行振込、クレジットカード、コンビニ払い、の3つからお選びいただけます。銀行振込の方は、下記金融機関宛にお手続きをお願い致します。その際は事務局 (info@kidogs.org) までご連絡をお願い致します。クレジットカード・コンビニ払いの方は、キドックスのHPからお手続きをお願いいたします。



物で支援する

活動に使用する様々な物品の募集をしております！
募藏品リストはキドックスのHPからご覧下さい。

振込口座

- ・銀行名 ゆうちよ銀行
- ・支店名 守谷久保ヶ丘支店
- ・店名 〇六八 (読み ゼロロクハチ)
- ・店番号 068
- ・口座番号 普通 4182270
- ・口座名義 特定非営利活動法人キドックス
- ・口座名義 (カタカナ) トクヒ) キドックス

特定非営利活動法人キドックス

〒300-4111 茨城県土浦市大畑1440

TEL: 070-5088-6436

MAIL: info@kidogs.org

HP: <http://www.kidogs.org>